

SSRだより

保護者向け

尾道市立美木中学校

令和5年 2月3日 NO. 5

美木中学校のピア・サポートトレーニング

ピア・サポートトレーニングもいよいよ終わりを迎えようとしています。

先日は、地図に描いてある家から学校までのルートを説明して、その説明を聞いた生徒が白紙にそのルートを描いていくトレーニングを行いました。

1回目は、説明する生徒が白紙にルートを描いていく生徒の方を見ずに一方的に説明し、2回目は、ルートを描いていく生徒の方を見て、反応を見ながら説明しました。

このピア・サポートトレーニングは、大勢の生徒に具体的にわかりやすい指示の出し方を身につけることが目的です。

トレーニングを受けている生徒の感想

「聞き手と話し手がコミュニケーションをとることが大事だとわかった。また、具体的に説明することも大切だということもわかった。説明をする話し手側を体験したことで1回目の相手の表情がわからない状況では、説明を理解してくれているのかがわからなかった。2回目の相手の表情が見える状況では、わからない表情をしているのが見えて、わからないところがどこなのかがわかったのでやりやすかった。」

「説明するときには、相手が受け取れる情報量を考えながら説明していくことが大切だと思った。また、説明するとき、相手の立場に立って考えながら説明していくことも大切だと思った。右左で説明するより東西南北で説明する方がわかりやすとも思った。状況によっては、他の伝えの方が伝わりやすい場合もあるかもしれない。」

「横で反応を見てくれながら教えてくれた方がわかりやすく、正確に描けた。道路の交差の状況なども説明してくれたのでわかりやすかった。もし道に迷っている人がいれば、説明するよりも自分はその人と一緒に目的地までついて行ってあげたい。」

「何かの説明をするときは、必ず人の目を見ていないとどんな表情をしているのかがわからないことや困った表情をしている人がいれば説明していることがうまく伝わっていないということがわかった。」

「自分では、うまく説明できたと思っただけではいけないということがわかった。だから、相手の顔を見てしっかりとわかりやすい説明をした方がつたわりやすと思った。」

「相手の方を見ずに説明するよりも、相手の方を向いて説明するとうまく伝わるということがよくわかった。」

いよいよ次回2月13日(月)の放課後、最後のピア・サポートトレーニングを行います。次回は1・2・3年の有志の生徒全員で学校をよりよくしていくために、自分たちにできることを考えていくトレーニングを行います。

